

2026年3月2日

NTTドコモビジネス株式会社
Airlinq Inc.

NTTドコモビジネスとAirlinq、通信規制国を含む世界各国でのIoTサービス展開を可能にする戦略的パートナーシップを締結

NTTドコモビジネス株式会社（旧NTTコミュニケーションズ株式会社、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小島克重、以下NTTドコモビジネス）とグローバルにIoTソリューションおよび回線管理プラットフォーム^{※1}（以下CMP）を展開するAirlinq Inc.（本社：アメリカ合衆国カリフォルニア州、CEO：Sunil Kaul（スニル・カウル）、以下Airlinq）は、通信規制国^{※2}を含むグローバル市場におけるIoT向けコネクテッドソリューションの提供拡大を目的として、戦略的パートナーシップ（以下本パートナーシップ）を締結しました。本パートナーシップにより、これまで各国の通信規制や要件によって分断されていたIoTの通信環境を統合し、グローバルでのIoTビジネスにおいて最大の障壁の1つとなっている「規制対応の複雑性」を解消します。

1. 背景

近年、自動車、建設機械などのモビリティ業界を中心に、IoTデバイスやサービスを活用した事業のグローバル展開が進展し、コネクテッドカー^{※3}をはじめとするIoTサービスの国・地域をまたいだ展開が加速しています。一方で、各国・地域には固有の通信規制やライセンス制度が存在しており、特に通信規制国においては長期ローミングや恒久的なサービス提供が制限される場合があるなど、グローバル展開における大きな障壁となっています。これらの課題に適切に対応するためには、現地通信キャリアや規制当局を含む複数のステークホルダーとの技術面・法務面での連携が不可欠であり、対応は複雑化しています。

こうした状況を踏まえ、モビリティ業界におけるグローバルIoTサービス提供の実績を有するNTTドコモビジネスと、通信規制国における深い知見と現地通信キャリアとのパートナーシップ体制を有するAirlinqは、通信規制国を含むグローバル市場において、安定的かつ円滑なIoTサービス提供を実現することをめざし、本パートナーシップを締結しました。

2. 本パートナーシップの概要

本パートナーシップでは、両社の技術基盤と知見を組み合わせることで、中東地域をはじめとした通信規制国を含む各国・地域において、国や通信キャリアごとに分断されがちな通信環境や運用を一元的に管理する仕組みを提供します。これにより、複数国・複数キャリア環境においても、「1つのプラットフォーム」かつ「1つの運用モデル」でIoTサービスを展開することが可能となり、お客さ

まは、国・地域ごとに異なる通信規制や接続要件への個別対応を行うことなく、世界各国で円滑かつ持続的なサービスを提供することができます。

また、国やキャリアを横断した SIM・通信状況の一元管理、eSIM/eUICC^{※4}を活用した柔軟な通信プロフィール切替、通信規制国における現地法規制への準拠支援などを、両社が共同で提供することで、お客さまのグローバル展開における複雑な通信運用の負荷を大幅に軽減します。

① CMP を活用した通信・SIM の一元管理

Airlinq の CMP を活用し、要件に応じて現地通信キャリアの CMP と連携させることで、国や通信キャリアをまたいだ SIM 情報や通信状況の可視化・一元管理を可能とします。

② eSIM/eUICC を活用した柔軟な通信提供

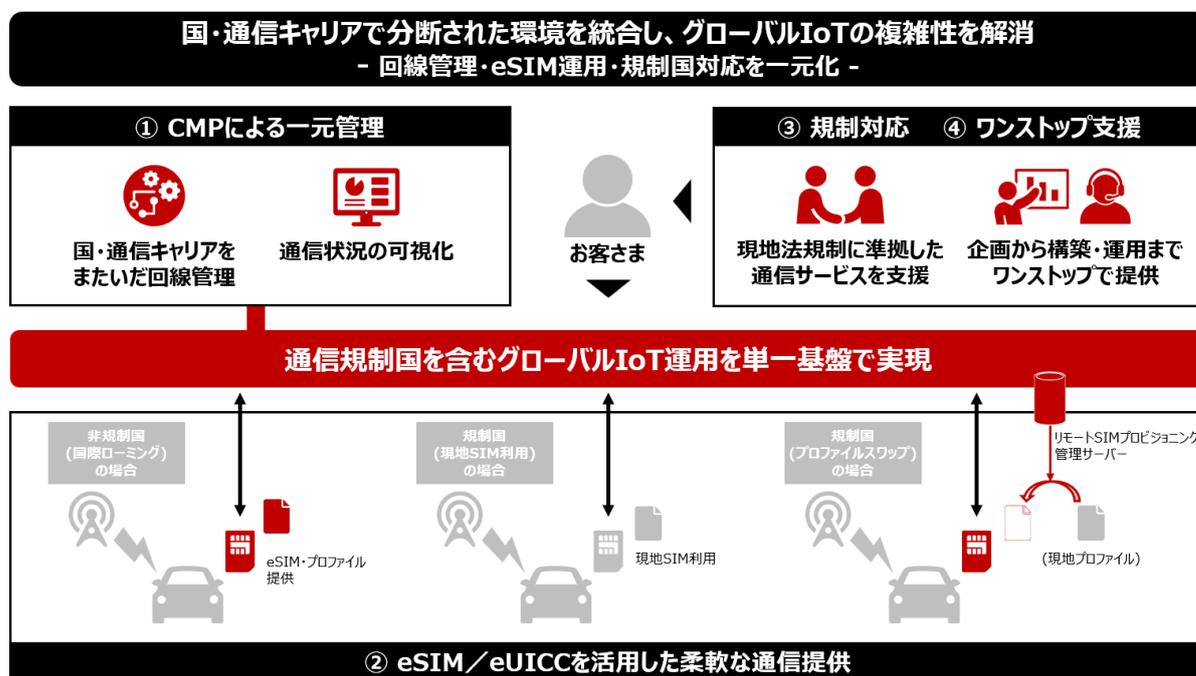
リモート SIM プロビジョニング^{※5}を活用し、現地通信キャリアが提供する SIM プロファイルに柔軟に切り替えることで、物理的な SIM 交換を伴わない効率的な通信運用を実現します。

③ 通信規制国を含む各国規制への対応支援

通信規制国で必要となる現地通信キャリアとの契約および運用対応を支援し、現地法規制に準拠した通信サービス提供を可能とします。

④ 企画から構築・運用までのワンストップ支援

NTT ドコモビジネスが、企画段階から構築・運用までを一貫して支援することで、お客さまは複数の事業者や国ごとの個別調整を行うことなく、グローバル IoT サービスを円滑に導入・展開・運用することが可能となります。



3. 各社の役割

NTT ドコモビジネス : IoT デバイスやサービスを展開する事業者向けの本ソリューション提供、プロジェクト統括

Airlinq : CMP および eSIM/eUICC ソリューションの提供、現地通信キャリアとの調

4. 各社のコメント

NTT ドコモビジネス株式会社 執行役員

プラットフォームサービス本部 5G&IoT サービス部長 小嶺一雄

昨今のIoTのグローバル展開においては、技術面に加えて「各国の法規制」が極めて大きな課題となっています。本パートナーシップはその課題を解決する取り組みです。NTT ドコモビジネスはAirlinq社との協業を通じて、通信規制国を含む世界各国で企業が安心してIoTビジネスを展開できる新しいスタンダードを提供していきます。

CEO, Airlinq Inc.

Sunil Kaul

“Global IoT scale is no longer limited by technology, but by regulation. Together with NTT DOCOMO BUSINESS, we are removing those barriers and enabling enterprises to deploy compliant, future-proof IoT services anywhere in the world.”

5. 今後の展開

NTT ドコモビジネスとAirlinqは、本パートナーシップを通じて、世界各国・地域の規制や接続要件に準拠したコネクテッドソリューションを、導入前の企画段階から導入後の運用に至るまで包括的に提供していきます。

両社は今後、自動車、建設機械、農業機械などのモビリティ業界をはじめ、グローバルにIoT事業を展開する企業に対し、デジタルトランスフォーメーションを支えるパートナーとして、グローバル市場での事業拡大を共に推進してまいります。

- ※1：回線管理プラットフォームとは、IoTデバイスに使用される通信回線やSIMに関する情報を、一元的に管理・制御するためのシステムです。
 - ※2：通信規制国とは、当該地域で通信ライセンスを保有しない海外事業者による、長期的なローミング利用や恒久的な通信サービス提供を制限・禁止している国のことです。
 - ※3：コネクテッドカーとは、通信機能を搭載しネットワークやクラウドと接続することで、稼働状況や位置情報の把握、ソフトウェア更新、各種サービス提供を可能にする車両のことです。
 - ※4：eUICC（Embedded Universal Integrated Circuit Card）とは、複数の通信事業者のSIMプロファイルを安全に格納・管理可能なSIM基盤です。
 - ※5：リモートSIMプロビジョニングとは、通信端末に搭載されたeSIMに対し、通信事業者のSIMプロファイルを遠隔から書き込み・切替することで、物理的なSIM交換を行わずに柔軟な通信利用を可能にする仕組みのことです。
-

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながる。驚きを。幸せを。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>